



### 大小共通するものは美しい

解決が困難な苦しみを抱えた人への援助は、必ずしも病気で苦しむ人とは限りません。人間関係であったり、仕事の悩みであったり、学業のことであったりします。そして、関わり方も多岐にわたります。1対1での対応は、具体的には何気ない一言で、援助になったり、ならなかったりします。そのために、援助的コミュニケーションを含む聴き方が大切になります。その一方で、多職種連携での援助も大切になります。1人ではどうにもならない現場でも、多職種がかかわることで、不可能が可能になることがあります。本人と家族との意見が異なる場面や、本人の意思が確認できない場面での意思決定支援でも、多くの人の意見をまとめていく力が求められます。このように多岐にわたる援助を学ぶとき、共通するアプローチが見えてきます。

ここで一つ皆さんにクイズを出してみたいと思います。“小さくても、大きくても共通する形は何？”いかがでしょうか？何かイメージがわくでしょうか？

答えは、中心とその周囲を回っている形です。小さな原子核の周囲に電子が回っているイラストと、太陽を中心に惑星が回っているイラストは、共通ですね。小さくても、大きくても共通するものは、美しいと思います。

対人援助でも、1対1の会話での対応と、多職種連携で関わる対応でも、あるいは意思決定支援などでの関わり方でも、共通する形があります。それは、苦しむ人への援助と5つの課題です。1. 援助的コミュニケーションを学び実践する、2. 相手の苦しみをキャッチする、3. 相手の支えをキャッチする、4. どんな私たちであれば相手の支えを強めることができるのかを知り実践する、5. 支えようとする自らの支えを知る。

苦しむ人と直接関わり、会話や非言語的なコミュニケーションを通して援助にあたる時も、“苦しみ”と“支え”を意識した関わり方が大切になります。同様に、多職種連携でも、“苦しみ”と“支え”を意識すると、何を連携すると良いかが見えてきます。意思決定支援においても同様です。倫理的ジレンマといわれる、どちらを選んでも残り続ける苦しみをキャッチすることは大切です。意思決定支援に関わるすべての人の苦しみをキャッチするとしてもよいでしょう。その上で、本人と家族の支えをキャッチしていくことや、その支えを強めるために何ができるのかをみんなで考えていくことは、5つの課題そのものです。そして、いずれも援助的コミュニケーションが基本となります。

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座では、この5つの課題をイラストとして紹介しています。どんなに困難な事例であったとしても、関わり方は共通です。会話での対応も、多職種連携でも、意思決定支援でも、その基本的な姿勢を共通のイラストで紹介できることは、素直に美しいと思います。

この苦しむ人への援助と5つの課題を学ぶための研修を、2025年問題解決の一つと捉え、エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座を展開したいと思います。10月は大阪、11月は東京と福岡、12月は名古屋、そして1月は仙台にて養成基礎講座が開催されます。詳細はエンドオブライフ・ケア協会のHPで確認できます。是非、ご参加下さい。小澤竹俊

### NHK 第1ラジオ マイあさラジオ再放送決定

今年の6月末から7月にかけてNHK第1ラジオの人気番組マイあさラジオの健康ライフのコーナーで、めぐみ在宅クリニックとエンドオブライフ・ケア協会の活動について紹介する機会がありました。このたび、リスナーからの好評もあり、10月5日（月）～10月9日（金）の5日間に再放送されることになりました。朝の5時37分すぎのコーナーです。お楽しみに。

### 日本ホスピス在宅ケア研究会

去る8月30日31日に横浜パシフィコにて日本ホスピス在宅ケア研究会が開催されました。めぐみ在宅クリニックからは、MSW佐藤さんがディグニティセラピーのモーニングセッションでシンポジストとして発表し、小澤院長が、いのちの授業として講演がありました。どちらのセッションも満員の盛況でした。特にディグニティセラピーのセッションでは、神戸で積極的に取り組んでいるはやしまクリニック希望の家との協同発表で良い交わりがありました。これからも、ディグニティセラピーについて積極的に取り組み、仲間を増やす活動を予定したいと思います。

### 第15回神奈川緩和ケア研究会

毎年春に横浜市で開催されてきた神奈川緩和ケア研究会の次回当番世話人として小澤院長が担当することになりました。そして、9月の世話人会を経て次回の開催要項が決まりました。

日時：2016年3月26日土曜日午後1時～午後5時

場所：関内ホール

テーマ：2025年問題に備える

講演：小澤竹俊（めぐみ在宅クリニック 院長）

シンポジウム：医師、看護師、薬剤師、MSW、介護施設相談員、特別コメンテーター（朝日新聞：佐藤陽氏（仮））を予定

60分の講演のあと2時間半をかけて、2025年問題について、現場の課題や取り組みについて報告を聞いたあと、フロアを交えて全体会を予定します。司会は、小澤院長なので、どんな展開になるか、楽しみです。

### 診療実績

	2006-2014年	2015年 1月-5月	2015年 6月	2015年 7月	2015年 8月	2015年 計	総計
訪問回数	32,656	3,268	753	786	755	5,562	38,218
自宅永眠	1,286	95	17	19	21	152	1,438
施設永眠	129	13	1	3	1	18	147
在宅(自宅+施設)	1,415	108	18	22	22	170	1,585
病院永眠	330	25	5	6	7	43	373